

令和5年9月1日

PTA 会員様

県立北須磨高等学校 PTA
会 長 二宮 芽利沙
育成委員長 成松 紀彦

PTA育成委員会だより

初秋の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。新涼の秋が気持ち良い季節になりましたが、いかがお過ごしでしょうか。

平素は、PTA 活動にご理解ご協力を賜りありがとうございます。

さて、7月6日に 河合塾 神戸三宮校 校舎長、竹林 香織（たけばやし かおり）氏をお迎えして進路講演会を開催いたしました。86名の皆様のご参加と進路指導部の先生方のご協力をいただき、有意義な時間を過ごすことができました。

つきましては、当日のアンケートの結果及びご感想の一部と藤後先生からのメッセージを掲載致しておりますので、あわせてご覧下さい。

【アンケート結果（78名回答）】（ホームページにも掲載）

① 学年別の参加人数(保護者)

学年	人数	割合
1年	22	28%
2年	27	35%
3年	29	37%

② 講演会の時間について

回答	人数	割合
長い	0	0%
少し長い	8	10%
丁度よい	68	87%
少し短い	0	0%
短い	0	0%
無回答	2	3%

③ 講演会の内容について

回答	人数	割合
期待以上	28	36%
期待通り	41	52%
普通	6	8%
期待と違った	2	3%
期待はずれ	1	1%

④ 講師の話し方について

回答	人数	割合
分かりやすい	67	86%
まあまあ分かりやすい	9	11%
普通	2	3%
少し分かりにくい	0	0%
わかりにくい	0	0%

◆保護者の方からのご意見、ご感想◆◆◆

(1年生の保護者より)

- ・講師の方の話し方など聞きやすく分かりやすかった。大学2年の子供がいるのでそう思う内容+医療系を考えて居るので、徳島・岡山・鳥取の話はとても参考になりました。
- ・高1から取り組める内容もあり良かったです。
- ・エアコンのない部屋で辛かったです。
- ・部屋が暑い。ここで生徒が勉強していると思うとかわいそうになる。エアコンをつけてほしい。
- ・大学入試の動向、子供への具体的な声掛け方法など、とてもたくさんの学びをいただく時間となりました。受験に限らず高校生となった娘との関りが難しくなったと感じる場面が増えました。高校生の心理変化や関わり方など、また別の講演で教えて頂けると幸いです。
- ・今日の講演で難関大学に合格するとは思えない。なぜ先取りで勉強することが重要なのに避けるのでしょうか。
- ・受験のプロからのお話で大変参考になりました。
- ・少しでも情報を知ることができて良かったです。
- ・講演のお話を聴けまして本当に良かったです。参考にして子供に向き合っていきたいと思えます。
- ・子供に対してどのように声掛けしたらいいか悩んでいたのが今日の講演会での話を実行したいと思えます。
- ・参加できて良かったです。家でのサポート今日から実行します。
- ・とてもスムーズで詳しく説明してくださって本当に良かったです。数字とかの説明が多いのですが、親のサポート面までご説明下さり今日からでも気を付けてがんばりたいです。
- ・受験に向けた講演をありがとうございました。大変参考になりました。今、高1の息子には学びに意欲を持ち続け受験に向かってほしいと思えます。
- ・河合塾での具体的例を交えてのお話で参考になりました。高校が忘れ物、提出期限について厳しく指導することも合点がいました。
- ・内容に現実とのギャップを感じた。精神的に実際はもう1ランク上です。少し年少向けである。PTAが出すぎ。

(2年生の保護者より)

- ・子供に向けた講演会も開催してほしい。
- ・参加させて頂いて良かったです。
- ・接し方に反省する点が多く、今日教えてもらったことを参考にひとつずつ実行していきたいと思えます。サポート頑張りたいと思いました。
- ・子供たちの将来の夢の探し方、見つけ方、寄り添い方を知りたいです。大学の学部・学科どんなものがあるのか、どんな仕事に結びつくのか。親の接し方、具体的な声掛けの仕方を教えて頂き分かりやすかったです。

- ・大学別・学部別でノウハウ等を含めた情報展開を希望します。
- ・忘れ物、遅刻が多い子は受験でも失敗が多いことを知り、とても心配になりました。生活態度から見直します。
- ・否定的な声掛けが多かったので反省です。
- ・志望校の検討にあたり、これまでの経験や知識が乏しく社会の情勢等の動きも分かっていない中、やりたいこと、行きたい大学の選択に苦慮しているのが現状です。
- ・知りたいところ、メモを取らないといけなかったのが少し大変でした。もう少しスライドをじっくり見たかったです。
- ・話が分かりやすく聞きやすかったです。内容もすごくためになりました。

(3年生の保護者より)

- ・次回の参考になると思います。この辺だと関関同立・神大・県大をモデルにしてあげてもらえるとわかりやすいと思いました。〇月に決定、〇月申し込み、〇月お金準備等親が何をしたらいいのか参考になります。
- ・受験の話だけでなく子育ての心構えに感心することが多くありました。3年生の保護者ですが、子供任せにしていた事もあったので一緒に考え、もっと寄り添ってあげたいと思いました。
- ・理系の話をもう少し聞けたら良かったです。
- ・去年も参加させていただきました。去年も思ったのですが、1年生の時から話を聞けばよかったです。
- ・これから受験までの親のサポートしていく内容がよく分かりました。今までやってはいけない事ばかりしていたように思います。
- ・面談をされておられるとのことで、保護者がすべきことと、してはいけないことを教えて頂けて助かりました。配点は大学からのメッセージというお言葉を持ち帰り国公立薬学部志望の娘と話したいと思います。現在、大学4年、2年の長男・次男が浪人生の時にお世話になりました。ありがとうございました。
- ・具体的で知りたい情報が多かった。下の子にも使える良い情報を知ることができたと思う。
- ・体験談など交えてくださり、とても具体的で分かりやすかったです。今からでもできる範囲で子供を見守りたいと思います。
- ・親の心得を具体例で示してくれて分かりやすかった。
- ・1・2年と3年では受験のお話の内容が違うと思います。3年だけでしていただけると私大についても時間があると思います。私大についてもじっくり聞きたかったです。
- ・志望校の選び方や受験日程の組み方例など教えてほしかった。
- ・子供への言葉かけが参考になりました。
- ・親として足りない部分がたくさんあると思いました。自分が大学出ていないので声掛けが難しいのですが、親も共に学び、お互いネガティブにならないようにしようと思いました。・進路についてもためになりましたが、子供への接し方など参考になりました。チームで乗り切ろうと思いました。

PTA 進路講演会を終えて

進路指導部長 藤後泰典

大変暑い中、今回も多くの方にご参加いただきました。ありがとうございました。
講演内容に関していくつか述べさせていただきます。

①今年度入試は大きなチャンス。

今年ほどチャンスのある年はこれまでにない。近年続いている浪人生の大幅な減少に加え、18歳人口が最も少なくなる年にあたることから現役生も少ない。科目を絞ってしまう受験生の増加で国公立大志望者はライバルが少ない状況。私立大もここ2～3年合格者をかなり多く出すようになっており、国公立大ともに頑張りが報われやすい年と言える。

②受験は生徒主体で。励ましは肯定的にタイミングよく。

学習に向かう意欲を高めるには学校、塾とやらんで家庭でのサポートが不可欠。ただ生徒が受け身になりすぎてしまっは心配。入試のシステムについて熟知することは難しいが、子どもの考えを知ろうとするスタンスが重要。「聞き出す」感覚で。1月になっても親子の考えのすり合わせができていないと出願期に慌ててしまう。子どもの希望と折り合いのつくラインを見つけるのにも時間がかかる。早めに話し合う時間をとってください。魅力のある大学、力のある大学も探せばたくさん見つかる。これもぜひ時間のある内にじっくり親子で探してみてください。(講演では具体的に大学名をいくつかあげて紹介いただきました)

③学校の授業を学習のベースにする。

受験を意識し過ぎるあまり、難問や過去問題に飛びつかないこと。もちろん合格のためには各大学の問題傾向や配点をよく知ることも重要だが、まずは学校の授業を大事に。

今日、授業でならったことがどれだけ身についているか。身につかないうちに先にどんどん進んでしまうのは怖い。模試で解けなかった問題の解答を見た時に「答えを見たらわかった。」が多い受験生は実力がついてこない。(勉強が追いついていない)

①に関して。まさしく粘りがいのある年だと思います。3年次生は焦らず、自信を持って受験に向かってほしいです。また、それでは来年度以降の入試が急に難化するのかといえばそうではないと思います。18歳人口は今年よりは多くなるとは言え、受験生が非常に少ない状況は変わりません。さらに新課程入試を敬遠して今年の入試は安全志向になることが予想されますので浪人生はさらに減少するはずで。大事なのは焦らないことです。いかに焦らずに力をつけていくか。これは学習したことが身につくような勉強を少しでも早く始めることにつきます。体を通り過ぎていくだけで、あとに何も残らないような学習方法ではどうしてもあとで焦りが生まれます。

新課程での共通テストは科目が増えることもあり、その負担感から科目を絞る受験生が

今よりも多く出ることが予想されます。その分、国公立大学の競争倍率や合格最低点はさらに下がるはずで、来年度以降の入試は科目を絞らずに粘ることの意味や効果がこれまでよりさらに大きくなっていくと考えられます。

②の志望校探しについてもぜひよろしくお願ひします。担任や進路指導部にもご相談ください。

③学校の授業をベースに。河合塾の方におっしゃっていただくと大変心強い気持ちになります。限られた時間の中で授業内容を身につけていこうとした場合、やはりアウトプットを重視した学習方法になると思います。予習か復習かといえば復習です。予習のメリットは授業で学習した時の理解・吸収が良くなることにあると思いますが、あまりに予習量が多過ぎたり予習時に理解が不足していた場合、いざ授業で学習した時に学習効果が上がらないということが起こってきます。人にもよりますが定着レベルが低いままに次々に新しいことを無理に入れていってもパンクしてしまいます。どれだけ時間をかければどれだけ身につくのかを早く知っておき、学習したことをしっかり定着させていくリズムを作ってほしいと思います。負担が過重にならないためにも早めの取り組みが大切です。

あくまでPTA進路講演会という性格上、3年次生向けの内容に特化するわけにもいかず、かといってやはり受験年次の保護者の方に聞いていただきたい事からも多くあり、時間の制約もあることから講演依頼の際に毎回悩みます。来年度の実施に向けて課題としていきたいと思ひますのでまたご意見などよろしくお願ひいたします。